

## 市ヶ谷基礎科目の目的と内容(2016年度以前入学者用)

※ 履修上の注意はP.学部一(39)～を参照してください。

### 市ヶ谷基礎科目0群～5群について

本学の市ヶ谷基礎科目は半期(春学期・秋学期)ごとに授業を完結する Semester 制を採用しており、科目名の後にⅠまたはⅡと表示されます。 ※一部、通年科目もあります。また、Ⅰ/Ⅱの代わりにⅢ(春学期)/Ⅳ(秋学期)と表示される科目もあります。

成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していくこととなりますが、科目の性質、または特殊性によってⅠ、Ⅱを連続履修することで、より理解が深まるとされる科目もあります。以下の各群の説明、および Web シラバスをよく読み確認してください。

履修登録は年1回春学期のはじめに、Ⅰ/Ⅱ(またはⅢ/Ⅳ)ともに受講科目の登録をします。Ⅱ(またはⅣ)についてはⅠ(またはⅢ)を履修していることが前提となっている科目もあるので、必ず WEB シラバス等で確認し、間違いのないように登録することが必要です。特に外国語科目(必修および選択科目)については原則としてⅠ/Ⅱ(またはⅢ/Ⅳ)連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。市ヶ谷基礎科目は0群から5群までの6つの科目群により構成されています。各群の概要については、以下の説明を読んでください。なお、以降の説明では、特別な場合を除き「Ⅰ」「Ⅱ」(または「Ⅲ」「Ⅳ」)等の記述を省くものとします。

#### 市ヶ谷基礎科目0群

市ヶ谷基礎科目0群を開設する目的は、市ヶ谷基礎科目1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」(2018年度まで「法政学への招待」)、「法政学の探究A・B」は法政大学の歴史と現状を知ること、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。
- ・「基礎ゼミ」は、「読み」・「書き」・「話す」能力を高め、幅広い文献、資料に接し、研究方法のマナーを修得することを目指しています。
- ・「情報処理演習」は、計算機の仕組みや IT 時事問題を学び、1人1台パソコンを利用して操作の基礎から電子メール・文書編集・表計算・プレゼンテーションなどのソフトの使い方を演習するものです。
- ・「ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・日本語の世界」は、各外国語の背景などを取り上げ、外国文化研究の概要を論じ、文献処理技術も指導して、各外国語、特に初修の諸外国語の修得に役立つ科目です。
- ・「健康の科学」は、健康教育の一環として心身の健康、さらに、生涯体育を推進するための科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身に付けるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。

#### 市ヶ谷基礎科目1群

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

#### 市ヶ谷基礎科目2群

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「マクロ経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の

8分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、それぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

### 市ヶ谷基礎科目3群

3群には、数学リテラシーと科学リテラシーを学ぶために、つぎの内容の7科目が開講されています。

「サイエンス・ラボ」:生物学、物理学、化学という自然科学の基本的な3分野の実験を3人の教員が協同、分担して解説、指導する実験授業です。サイエンス・ラボAは身の回りの科学、とりわけ光を共通のテーマに据えて、サイエンス・ラボBは科学史から題材をもとめ、それぞれの分野の実験を通じて、理科が苦手だったあなたも、サイエンスの楽しさを味わい、サイエンスに興味を持てるようになることを目指しています。

「教養数学」:具体的な問題を解くことで「わかった!」を感じながら、数学の美しさを体験してもらいます。

「基礎数学」および「発展数学」:さまざまな分野、特に社会科学などへの応用ができることを目標として、数学の基本的な手法に親んでもらいます(両科目には順次性があります)。

「原子から宇宙まで」:自然現象の背後にある物理法則を微視的立場で理解します。

「生命科学」:宇宙から人間まで広い範囲の生命現象について、映像等を通じて紹介します。

「物質と環境」:元素から出発して、化合物の生成のメカニズム、および物質変化の法則性を考え、さらに環境問題を自然科学の面から論じます。

### 市ヶ谷基礎科目4群

4群には英語と英語以外の諸外国語[ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語(留学生のみ)]があります。

#### <英語>

市ヶ谷基礎科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

市ヶ谷基礎科目の構成は、必修科目(1年次・2科目)と選択科目(1~4年次)に大別されます。必修科目は、English1(リーディング系)とEnglish2(表現系)で、習熟度別・少人数編成のクラスで行われます。選択科目は、レベル別に開講されている多様な科目のなかから、自由に選んで、1年次から履修することができます(ただし、必修科目の英語単位は3年次までに履修する必要があります)。

また、基礎科目のほかに、グローバル・オープン科目として開講される、Intercultural Communication A~Dもあります(詳しくはWEBシラバスを参照)。この4科目は市ヶ谷基礎科目4群(選択)として認定されます。

#### <諸外国語>

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。1年次には0群に「~語の世界」という入門のための科目も用意してあります。

ロシア語以外の外国語には、クラス授業以外に、クラス授業と代替できる選択必修科目があります。「ドイツ語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「時事ドイツ語」「検定ドイツ語」などがあります。「フランス語」には、「コミュニケーション」「視聴覚」「時事フランス語」「検定フランス語」などがあります。「中国語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「検定中国語」などがあります。「スペイン語」には、「コミュニケーション」「時事スペイン語」などがあります。「朝鮮語」には、「コミュニケーション」「講読」「表現法」「視聴覚」などがあります。

「ロシア語」は、基礎知識から学び、ロシア社会の理解を目的としています。「中国語」は1年次から生活会話を中

## 学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

心とした授業を組み、2年次では各種文体の読解力増強を図ります。「スペイン語」は、1年次を基礎コースとし、文法・講読を、2年次に小説・エッセイ等を用いて読解力を深めます。「朝鮮語」は、1年次には発音・文字・文法など総合的な基礎を固め、2年次には読解力や表現力を深めます。

なお、選択科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

### 市ヶ谷基礎科目5群

スポーツ総合演習は、①クラス指定の週1回半期型、②自由に選択履修できる週1回半期型の2つの形式で開講されています。


①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として履修する授業の学期・曜日・時限が指定されています。②は選択科目で、いずれも学部を問わず履修可能ですが、履修希望者が多数の場合には事前のガイダンスにおいて授業ごとに抽選で履修可能者が決定されます。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を修得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回ずつ、計4単位を上限として履修・修得することが認められています。

授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、経営学部のガイダンスの際に説明します。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、Web シラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

URL : <http://www.hoseikyoiku.jp/ilac/index.html>

カリキュラム・マップ	ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

#### (4) 各外国語科目の授業内容等について

各外国語科目(英語および諸外国語)の授業の目的や目標、各年次で履修する授業内容、履修パターンなどについて、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb 掲示板にて紹介しています。

また、英語については、選択科目、総合科目、グローバル・オープン科目のレベルも掲載していますので、必ず確認してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)

URL : <https://hoppii.hosei.ac.jp>

